



## 少しずつ少しずつ・・・

子どもは常に「できないことができるようになりたい」「わからないことがわかるようになりたい」と思って、日々の学校生活を送っています。そして、できるようになるために、あるいはわかるようになるために、一生懸命努力するものです。

最近の学校生活の中で、そんな子どもたちの姿を見つけました。

### ① 鼓笛の金管楽器の練習



6年生の指導を受けながら、トランペットやユーフォニウムなど金管楽器の音出しの練習をする4年生・5年生



昼休みの時間に、来年度鼓笛隊の中心となる5年生と4年生が金管楽器の音出しの練習を行っています。音の出し方を指導しているのは、6年生です。マウスピースの口への当て方、楽器の持ち方、指の押さえ方などを少しずつ少しずつ覚えています。

### ② なわとびの練習

始業前の朝の時間に校庭に出て「なわとび」を練習する子どもたちの姿が見られます。あやとびや二重跳びなど、いろいろな跳び方の練習をしています。

3学期には、校内なわとび記録会が予定されています。今から少しずつ少しずつ練習を積み重ねることで、いろいろな跳び方が跳べるようになることでしょうか。記録会では新記録を目指して頑張らせたいです。



なわとびに取り組む3年生

### ③ 一輪車の練習

業間や昼休みの時間に一輪車の練習を熱心に取り組んでいるのは2年生です。これまで本校では一輪車は3年生からという決まりがありましたが、2年生でもぜひやりたい子は乗っても大丈夫ということにしました。そうしたところ、多くの2年生が一輪車に取り組み始めました。しかし、乗りこなすには難しいようです。何度も何度も転びます。それでも少しずつ少しずつ上達が見られます。

どの子にもできないことができるようになる喜びをぜひ味わわせたいです。



一輪車に取り組む2年生